

IBM i上で稼働する流通BMS対応システムを、 基幹システムの対応も含め4ヶ月という短期間で構築。 通信速度の向上と安定性で取引先をサポート。

東海漬物株式会社

「きゅうりのキューちゃん」「こくまキムチ」などの漬物製品を製造する東海漬物株式会社では、取引先からの流通BMSに対応してほしいという要望を実現するために、IBM i上で稼働する流通BMS対応EDIパッケージ「ACMS B2B」(以下、ACMS)(開発:株式会社データ・アプリケーション)を採用。トッパン エムアンドアイ株式会社と株式会社 情報創研の導入支援により早期稼働を実現しました。



お客様情報

東海漬物株式会社
愛知県豊橋市駅前大通2丁目28番地 **純日本品質**
<http://www.kyuchan.co.jp/> **東海漬物**

企業概要: 1941年9月の創業以来、野菜を素材とした、ごはんに向う、コクと旨みのある高品質な漬物を提案。日本の食卓に新しい価値を提供することを目指し、包装つけものを主体とした製品の製造および販売を事業として展開しています。

導入前の課題

- IBM i 上で稼働する流通BMSに対応したEDIパッケージを短期間で構築したかった。

解決方法

- トッパン エムアンドアイ株式会社と株式会社 情報創研の導入支援により、株式会社データ・アプリケーション の流通BMS対応EDIパッケージ「ACMS B2B」を採用。

導入後の効果

- わずか4ヶ月という短期間で、既存のJCA手順や全銀取引の仕組みと共存する流通BMS対応システムを構築。
- 通信速度と接続の安定性が向上。

導入効果

ACMS採用で流通BMSに4カ月で対応。
IBM i の安定性も高く評価。

流通BMSは、流通業界で広く使われているEDI(電子データ交換)方式であるJCA手順に変わる新しいEDI標準として2007年4月に公開された業界標準仕様です。通信速度が遅い、フォーマットが統一されていないなど、従来型のEDIが抱える課題を解決することを目的としており、流通業界において着実に採用が進んでいる仕様です。

IBM Power Systems™上のOS、IBM iの上で稼働するEDIパッケージ「ACMS B2B」を導入し、流通BMS対応システムを構築したメリットを、東海漬物株式会社経営企画室室長の野尻雅文氏は次のように話します。

「決まった時間に自動的に受発注のメッセージをやり取りする既存のJCA手順や全銀取引の仕組みはそのままに、流通BMSというより安定した高速な取引環境を実現できたことが最大のメリットです。また、ACMSを使わなかったら、わずか4ヶ月という短期間で構築することも不可能だったでしょう」

また、経営企画室主任の西川和寿氏は、ACMSによる流通BMS対応の効果を、次のように語ります。

「これまでのJCA手順で使用している回線速度は限られていて、速くても9600bps程度でしかデータが転送できませんでした。そのため取引が混み合う時間には、相当な時間がかかっていました。しかし流通BMSではメガビットの単位でデータを転送できます。今後、すべての取引を流通BMSに移管できれば、かなりの受発注業務の効率化が期待できます」

また、経営企画室主事の村上修司氏は、「これまでのEDI取引では、取引先ごとに個別対応する必要のあるものも多くありました。流通BMSでは、データのやり取りの標準化、基本的な概念を統一し、業務そのものを標準化できます。そのため、発注を受けて事前出荷を返し、納品を確定、請求を行い、支払を受けるという一連の業務が標準化されるので、管理を含めて非常にメリットがあります」と話します。

さらに経営企画室主事の太田昌司氏は、「JCA手順から流通BMSに移管したことで、通信速度と安定性が向上しました。JCA手順では、ピーク時につながらないという問題が発生することがありましたが、流通BMSに移管してからは、まったくトラブルは発生していません」と話しています。



東海漬物株式会社
経営企画室 室長
野尻 雅文 氏



東海漬物株式会社
経営企画室 主任
西川 和寿 氏



東海漬物株式会社
経営企画室 主事
大村 昌司 氏



東海漬物株式会社
経営企画室 主事
村上 修司 氏

お客様ニーズ

従来型EDIの通信機器の限界と、流通BMSへの早期対応が課題に。

東海漬物では、取引先との受発注業務をシステム化するEDIを早い時期から推進しており、全売上の40%をEDIが占めていました。

しかし従来型のEDI取引は、通信機器の保守期限切れや通信速度の限界が近づいていることから何らかの対策が必要でした。また取引先ごとにデータフォーマットが異なっているために個別対応が必要であり、そのためのシステム開発が大きな負担になっていることも解決すべき課題となっていました。

さらに、大手の取引先が新しい流通センターを稼働するにあたり、流通BMSに対応してほしいという要望もあり、2010年5月ごろから検討を開始。「2010年9月中旬までには流通BMSに対応したシステムを構築し、本格的に稼働させることが不可欠でした」(野尻氏)という状況でした。

ソリューション

流通BMSと既存JCA／全銀手順との共存ができ、IBM i上で稼働するACMSを採用

そして2010年7月下旬より、ACMSを利用した流通BMS対応システムの構築を開始。8月よりテストを実施して、9月中旬に計画どおり本番稼働を迎えています。

システム構築にACMSを採用した理由を、野尻氏と大村氏は、次のように語ります。

「2009年の終わりごろから流通BMSにつ

いての調査は開始していました。その結果、流通BMSへの対応の依頼があれば、独自に開発するのではなく、パッケージ製品で対応しようと考えていました」(野尻氏)

「マルチプラットフォーム対応であったことがACMS採用の決め手でした。基幹システムがIBM i上で稼働していたので、流通BMSに対応するためにPCサーバを導入するのは、コスト面でも管理面でも効率的ではないと考え、最終的にIBM iの採用を決めました」(大村氏)

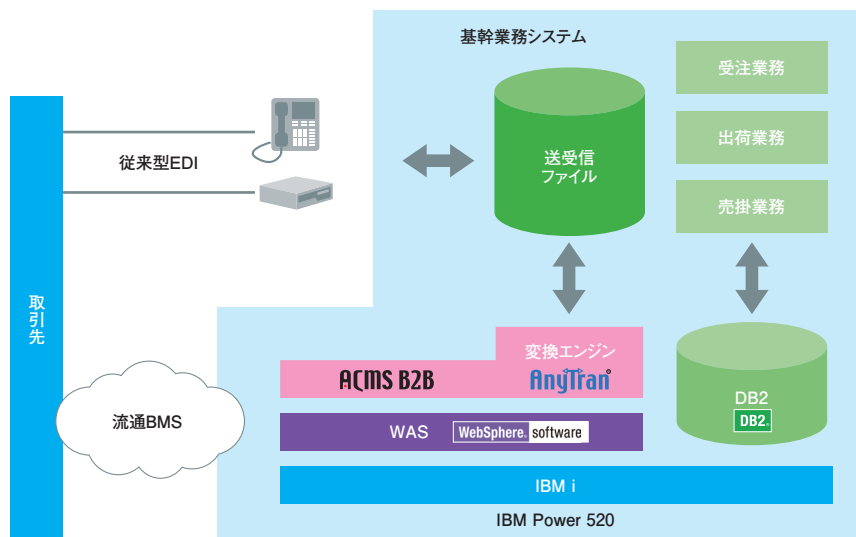
今回のシステムは、トリガーとしてIBM iで稼働する基幹システムからデータが抽出され、それをACMSでフォーマット変換して、IBM iに戻し、各取引先とデータのやり取りを行う仕組みになっています。

IBM iについて村上氏は、「既存のアプリケーションの継承面、Power Systemsという

ハードウェアの絶対的な安定性の面においてIBM iを高く評価しています。またIBM i上で、IBM WebSphereおよびIBM DB2も利用しています。どちらも使い勝手が良く、パフォーマンスにも満足しています」と話します。

今後、東海漬物では、流通BMSへの対応をほかの取引先にも拡大していく計画です。野尻氏は、「2011年に入って、すでに数社から流通BMSへの対応を打診されており、対応を始めています。今回、ACMSを導入したことで、ほかの取引先とも柔軟かつ迅速な流通BMSへの対応が期待できます。

またJCA手順を行うためのモデムの保守期限切れが近づいていることも流通BMSへの移管を加速させるでしょう。」と話します。



IBM パートナー

株式会社データ・アプリケーション

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1丁目3番8号

<http://www.dal.co.jp/>

トッパン エムアンドアイ株式会社

〒161-0033 東京都新宿区下落合1-5-22

<http://www.toppanmi.jp/>

株式会社情報創研

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町5-4

<http://www.jsk.co.jp>

IBM、IBMロゴ、ibm.com、DB2、PowerSystemsおよびWebSphereは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。現時点でのIBMの商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml(US)をご覧ください。各ビジネス・パートナー様より紹介されたソリューションは、各ビジネス・パートナー様により提供されます。提供条件、保証の有無などの詳しい内容はソリューションを提供する各ビジネス・パートナー様にお問い合わせください。



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21
12-11 Printed in Japan

ソリューション紹介URL

<http://www.ibm.com/jp/partners/partnerworld/solutions>

お問い合わせ先

日本アイ・ビー・エム株式会社 ソフトウェア事業

●販売パートナー様窓口 パートナーインフォメーション TEL.03-3568-7028

受付時間:月～金 9:00～12:00、13:00～18:00(土・日・祝日、12/30～1/3を除く)

●お客様窓口 ソフトウェアダイレクト TEL.0120-450-260

受付時間:月～金 9:00～12:00、13:00～17:30(土・日・祝日、6/17弊社創立記念日、12/30～1/3を除く)

●掲載された情報は2011年12月現在のものです。事前の予告なしに変更する場合があります。

●本事例中に記載の肩書や数値、固有名詞等は初掲載当時のものであり、閲覧される時点では、変更されている可能性があることをご了承ください。

●事例は特定のお客様での事例であり、全てのお客様について同様の効果を実現することが可能なわけではありません。